

真に自立した まちづくりを めざして！



松前町長 白石 勝也

3月7日（月）から開催された平成17年松前町議会第1回定例会で、白石町長が述べた平成17年度の町政方針の要旨をお知らせします。

はじめに

昨年の暮れに東南アジアのスマトラ島沖の地震により、50メートル級の巨大津波が発生し、スリランカやリゾット地のプーケットなど広範囲にわたってがれきの山と化し、犠牲者約30万人というとてもない歴史的大惨事となりました。

被災地の方に少しでも役立てていただこうと、松前町におきまして、いち早く義援金の募金箱を設置して、町民の皆様にもご協力をお願いをいたしました。集まった義援金につきまして、復旧支援の一部に役立てていただきたいと思います。

また、日本にとって特に懸念される国際情勢といたしましては、依然明らかにはされない北朝鮮の拉致問題や核開発問題、そして、未だに多発するイラク（バグダッド付近）の自爆テロなど、解決に向けた和平交渉が早急に望まれるところであります。今年こそ朝鮮半島と中東を中心に、世界平和に向かった国際協議が、少しでも前進してほしいと願ってやみません。

それでは、平成17年第1回定例会の開催にあたり、上程いたしました各議案の説明に先立ち、諸般の報告並びに平成17年度の町政方針につきまして、私の所信を申し上げ、議員の皆様をはじめ、町民の皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

行政改革

行政改革につきましては、昨年4月から松前

町改革会議を設置するとともに、行政改革推進本部を中心に、全職員が一丸となって事務事業を見直してまいりました。

これらの行政改革への取組みにつきましては、今年1月に冊子を作成し、全戸配布するとともに、調査票によりご意見をお伺いいたしました。「もっと行政改革を進めるべき」という意見など貴重なご提言を多数寄せていただきました。私としましては、これらのご意見を真摯に受けとめ、これまでに示しております行政改革の取組みに加え、更なる経費節減の方策として、私ほか特別職給料を10パーセントカットするとともに、職員の昇給停止年齢の引き下げを実施することといたしました。また、特別職の削減についても引き続き検討することにしております。

また、職員数については、私が就任して以来、平成15年度までに13名を削減しており、今後平成16年度から平成20年度までの5年間に一般事務職員に関しては、定年退職予定者17名の補充者を組織改革等によって半減させ、10名程度は削減したいと考えております。



松前町行政改革の冊子